



本宿だより

ホームページ <http://www.fuchu14s.fuchu-tokyo.ed.jp/>
学校ブログ閲覧時は以下の事項をご入力ください。

10月号

令和5年9月30日
府中市立本宿小学校
校長 藤咲 孝臣
児童数： 685名

実りの多い秋の教育活動

校長 藤咲 孝臣

厳しい残暑も少しずつ和らぎ、秋らしい爽やかな季節になってきました。季節が移り変わる中、本宿小学校では様々な学習や行事に取り組んでいます。間もなく、5年生は学校田に稲刈りに出掛けます。また、6年生は、10月5日に開催予定の府中市連合陸上記録会に向けて、毎朝のように朝練に励んでいます。今年は府中第四中学校の陸上部の有志の皆さんが6年生の放課後練習に駆け付け、後輩たちに見本を見せたり助言をしたりしてくれました。6年生の子供たちも先輩のアドバイスを真剣に聞き、練習に活かそうとしていました。このような児童生徒の交流をととてもうれしく思います。小中連携は府中市でも大切な取組の一つです。これからも、小中連携の推進を目指し、教職員の交流だけでなく児童生徒の交流も積極的に進めていきたいと考えます。府中第四中学校の皆さん、ありがとうございました。

さて、9月の中旬に、5年生と一緒に「わくわく自然教室」で長野県茅野市の車山高原や蓼科を訪れました。蕎麦の白い花が咲き、稲穂が実り、既に高原は爽やかな秋を迎えていました。今年度から5年生の宿泊行事は三泊四日になりましたが、あっという間の4日間でした。天候にも恵まれ、予定通りの行程で4日間を過ごすことができました。夜空に瞬く無数の星、キャンプファイヤーの炎、車山からの眺望など様々な場面で歓声を上げる子供たちの姿に、私たちも本当にうれしくなりました。府中を離れ、友達や先生と過ごした車山高原での4日間は、子供たちにとって忘れられないものになったことと思います。

話は変わりますが、9月の最終週を本宿小学校では「国際交流・国際理解 Week」を設定し、外国の人や外国の文化に触れる機会をつくり、異文化理解につながる学習に取り組みました。本宿だより7月号でもお伝えしましたが、本宿小学校では、今年度の方針の一つとして、グローバルな人材の育成を目指しております。1学期には「英語 Enjoy Week」を設定し、英語に慣れ親しみ、英語を通してコミュニケーションを育む機会をつくりました。また、3学期には「日本語・日本文化 Week」を設定し、自国の言葉や伝統文化に様々な形で触れる機会をつくる予定です。そして、日本のよさや伝統文化の理解につなげていきたいと考えています。

今回の「国際交流・国際理解 Week」の取組として、「イングリッシュ・キャラバン」では、5人の外国人講師が本宿小学校を訪れ、校門での朝の挨拶、授業、休み時間、掃除の時間など全学年の子供たちと様々な場面でかかわっていただきました。習った英語を少し使ったり、身振り手振りで伝えたり、子供たちも楽しげに講師たちとコミュニケーションをとっていました。また、「うたうまち府中プロジェクト」では、フルート奏者、オーボエ奏者、ピアノ奏者の3人の演奏家がゲストティーチャーとして来校していただき、5年生に音楽を通してオーストリアなど外国の文化を学ぶ機会をつくっていただきました。プロの演奏家が奏でる美しい演奏に子供たちは皆、感動していました。また、4年生は、ICT機器を活用し、現地に住むタイの方とオンラインで交流し、タイの食生活や文化などを学びました。その他にも、国際協力委員会の子供たちが様々な国のことを学べる掲示物をつくり、休み時間などスタンプラリー形式で全校児童が学んでいます。そして、10月30日には、府中市との友好都市であるウィーンのヘルナルス区の訪問団を本宿小学校にお迎えする予定で、その準備も始めています。訪問団一行をお迎えすることで、オーストリアやウィーンはもちろん、世界の国や町、外国の文化などへの興味や関心がさらに高まることを期待しています。

5年生 わくわく自然教室

5年担任

9月3日から6日までの4日間、天候にも恵まれ、すべての活動を予定通り実施することができました。バスの中や日中の活動、部屋の中など様々な場面で子供たちの楽しそうな表情や真剣な表情をたくさん見ることができ、とても充実した4日間となりました。親元を離れ、友達と生活を共にすることで、時間を守ったり、自主的に行動したりする意識が高まりました。府中市とは異なる自然環境の中で、ハイキングやスコアオリエンテーリングを行うことで、自然に親しみ、友達と協力することの大切さを学びました。キャンプファイヤーでは、火を囲んで歌やダンス、ゲームをし、とても盛り上がりました。実行委員の子供たちを中心に考えた「自然とふれ合い 仲間とつくる 最高の思い出 目指せ 5年の頂上 みんなでさあ行こう！」というスローガンの下、一人一人が役割や責任をもって生活したことを大きな経験値として、今後の学校生活にもつなげていきます。



国際交流・国際理解 Week

レガシー担当

2学期は「国際交流・国際理解 Week」を行いました。世界の様々な言葉や遊び、文化等に慣れ親しみ外国の文化を知ることがを目的に、学校全体や各学年で様々な取り組みをしました。子供たちは、歌を歌ったり興味のある国について調べたり、ゲストティーチャーの話を聞いたりして、日本と他の国々との共通点や違いを楽しんでいました。



〈各学年の取り組み〉

1年生	外国の歌をみんなで歌う。
2年生	世界の様々な挨拶を学ぶ。
3年生	国を調べて国旗を作り、廊下に貼る。
4年生	クラスで外国の遊びに取り組む。 タイの方の講話を聞く。
5年生	オリンピックと関連させながら国の文化を調べる。
6年生	ネパールで活動している方の講話を聞く。
国際協力委員会	様々な国の言葉で挨拶運動をする。 外国の文化を紹介するポスターを掲示する。 お昼の放送で外国に関するクイズを出す。 オーストリア・ウィーンの本校の姉妹校ハリルシュガッセ小学校との文通交流をする



4年生 総合的な学習「ともに生きる」 ～あすチャレ！ジュニアアカデミー～

4年担任

9月27日(金)「あすチャレ！ジュニアアカデミー」(主催：日本財団パラスポーツサポートセンター)という活動で、車いすフェンシングの選手の方にお越しいただきました。パラアスリートの方の思いや努力を知り、共生社会について理解を深めるための活動です。

子どもたちは、懸命に耳を傾け、パラアスリートの方の車いすフェンシングに対する思いやパラアスリートになるまでの努力を知りました。実際に体験する活動では、講師のパラアスリートの方とともに鬼ごっこなどを行いました。講師の方も一緒に楽しむにはどのような工夫が必要かを話し合い、ともにスポーツをする楽しさを感じていました。



**※11月1日（金）は就学時検診のため、全校児童12時40分完全下校になります。
よろしくお願いたします。**

10月の行事予定 ①～⑥の数字は、学年を、▼は期間の始まりを、▲は期間の終わりを表します。

「朝」は、講話朝会、体育朝会、音楽朝会、縦割り班活動、基礎基本タイム 学級指導などを表します。クラブ活動・委員会活動は、5校時終了後（6校時）に行います。

日	曜	朝	行事等	時程	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	火	—	都民の日	A	5	5	6	6	6	6
2	水	たて	④ぼうさい授業	B	4	5	5	5	5	5
3	木	読書	①交通安全教室	B	5	5	5	6	6	6
4	金	—	②PFS球根植え	A	5	5	6	6	6	6
5	土		10地区ふれあい音楽祭							
6	日									
7	月	講和	◆委員会	B	4	5	5	5	5 委員会	5 委員会
8	火	—	◆避難訓練	A	5	5	6	6	6	6
9	水	読③	◆読み聞かせ③	B	4	4	4	4	4	4
10	木	読書		B	5	5	5	6	6	6
11	金	—	⑥日光事前検診	A	5	5	6	6	6	6
12	土									
13	日		熊野神社古墳祭							
14	月		スポーツの日							
15	火	—	▼日光移動教室始	A	5	5	6	6	6	6
16	水	読書		B	4	5	5	5	5	6
17	木	読書	▲日光移動教室終	B	5	5	5	6	6	6
18	金	—	⑥4時間授業給食あり(2～5時間) ②③お囃子 漢字検定	A	5	5	6	6	6	4
19	土									
20	日									
21	月	講話	◆クラブ	B	4	5	5	5 クラブ	5 クラブ	5 クラブ
22	火	—		A	5	5	6	6	6	6
23	水	学級	◆安全指導	B	4	5	5	5	5	5
24	木	読書	⑥連合陸上大会	B	5	5	5	6	6	6
25	金	—		A	5	5	6	6	6	6
26	土									
27	日									
28	月	講和	◆クラブ	B	4	5	5	5 クラブ	5 クラブ	5 クラブ
29	火	—		A	5	5	6	6	6	6
30	水	音楽		B	4	5	5	5	5	5
31	木	—	⑤モアレ検査 ▲読書月間終	A	5	5	5	6	6	6

10月の目標

安全

こうつうあんぜん きつ
交通安全に気を付けよう

保健

め たいせつ
目を大切にしよう

生活

じぶん しごと
自分の仕事をやりとげよう

給食

たの た
マナーを守り、楽しく食べよう

《10月の生活指導 「自分の仕事をやりとげよう」》 生活指導主任 永松 俊祐

学校では、学習時のグループでの担当、当番活動、係活動など、協力して仕事をする機会がたくさんあります。体験を通して協力することの大切さを指導していきます。

ご家庭での仕事の分担はいかがですか。学校での協力の基本になっているのは、家庭内での仕事の分担です。子供たちの仕事は、健やかな成長に欠かすことのできないものではないかと思ひます。

仕事を通して、しなければならぬことをきちんとすることの必要さ、してあげる喜び、してもらうことへの感謝を十分に味わわせることが大切です。ご家庭でも、自分の仕事について振り返って話すきっかけになればと思ひます。